



令和元年11月21日

京都市総合企画局

担当：国際化推進室

電話：075-222-3072

トルコで開催される国連開発計画（UNDP）主催国際フォーラムに、 鈴木副市長が登壇し、本市の多文化共生政策を世界の都市に説明します！

トルコ共和国ガジアンテップ市において、11月26日、27日に国連開発計画（UNDP）と同市主催の「国際フォーラム」が開催されます。京都市からは鈴木章一郎副市長が登壇し、本市の多文化共生の取組を世界の都市と共有しますので、下記のとおり、お知らせします。

記

1 国際フォーラムについて

世界各都市の首長等が「移民や強制退去」に関する政策を共有し、意見交換を行うことにより、都市レベルの繋がりを構築するとともに、同課題に対し、よりよい政策の立案に寄与することを目的に開催されるフォーラム。

日 時：令和元年11月26日（火）、27日（水）

場 所：ホテル ディバン・ガジアンテップ

テーマ：「地方における移民、強制退去者への対策」

主 催：国連開発計画（UNDP）、ガジアンテップ市

参加者：国連開発計画（UNDP）、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）、都市・自治体連合（UCLG）、ガジアンテップ市長（トルコ共和国）、アンマン知事（ヨルダン・ハシェミット王国）、メリダ市長（スペイン共和国）、その他中東、ヨーロッパの都市など 27都市

H P： <https://www.municipalforum2019.org/>

2 鈴木副市長出席セッション

テーマ：安全な場所としての都市「安全で守られた環境を保障する地方自治体」

鈴木副市長は、ピロト市（セルビア共和国）の市長やノックス市（オーストラリア）市会議長らとともにステージに登壇し、京都市における多文化共生政策について説明予定。

<出席経緯>

在トルコ日本国大使館から、国連開発計画トルコ国際事務所へ「京都市が長年にわたり多文化共生に関する取組をされているので、その経験を同フォーラムで共有していただければ有意義なものになるのではないか」との提案があり、同事務所から本市へ出席依頼があったものです。

<裏面あり>

3 国際フォーラムスケジュール

月日	内容
11/26 (火)	<p><パネルセッション1> 「移住及び難民に対する管理, 包括的計画を通じた SDGs のローカライゼーション」</p>
	<p><パラレルセッション1-1> 「難民等の雇用, 民間セクターとの協力, 継続可能な生活」</p>
	<p><パラレルセッション1-2> 「安全な場所としての都市: 安全で守られた環境を保証する地方自治体」</p>
	<p><パネルセッション2> 「都市間ネットワークと協力: 地域住民の反応に係る成功事例の模倣及び調整方法」</p>
11/27 (水)	<p><市長によるパネルセッション3> 「他都市に刺激を与えるガバナンス: 地方自治体レベルのガバナンスと, 中小規模都市の役割を繋げる。」</p>
	<p><パラレルセッション2-1> 「全ての人にとっての成功を定着させる。: ジェンダーの平等性と, 若者への権限の付与」</p>
	<p><パラレルセッション2-2> 「尊厳の保証: 健康や教育といった基本的サービスを楽しむことができるよう努力している地方自治体」</p>
	<p><パラレルセッション2-3> 「持続可能な都市のビジョン: 都市経済の循環, そして移住と強制送還が都市に与える影響」</p>